

【OIE 情報】台湾における狂犬病の発生について

平成 25 年 8 月 2 日
動物衛生課

台湾における狂犬病の発生について、OIEへ追加報告がありましたのでお知らせいたします。本報告は2013年7月17日付けの発生報告の続報(Follow-up 4)です。

なお、本年7月16日付けの台湾政府による狂犬病確定診断の公表を受け、農林水産省は7月17日より台湾を狂犬病の非清浄地域として取り扱っており、7月25日付けで指定地域(農林水産大臣が認められている狂犬病の清浄国・地域)から削除しました。

出典:OIEウェブサイト(2013年8月1日付け)

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=13835

(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

【概要】

- ・発生数:8件 (Follow-up 4)
- ・発生日:2013年7月25日、27日、28日、29日
- ・OIEへの報告日:2013年8月1日
- ・臨床徴候なし(訳注:「Sub-clinical infection」と記載)

【発生状況】

・発生場所:台湾

7月25日:台東県(たいとうけん)台東市(たいとうし) ————— ジャコウネズミ
7月27日:南投県(なんとうけん)魚池郷(ぎょちきょう)、南投県 竹山鎮(たけやまちん)
7月28日:南投県(なんとうけん)草屯鎮(そうとんちん)、台東県 台東市
7月29日:台東県 東河郷(とうがきょう)、台東県 成功鎮(せいこうちん)、
高雄市(たかおし)燕巢区(えんそうく) } イタチアナグマ

・発生8件の合計(ジャコウネズミ1頭での発生1件、イタチアナグマ1頭での発生7件)

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
ジャコウネズミ*1	1	1	1	0	0
イタチアナグマ*2	7	7	6	1	0

*1:ジャコウネズミ(原文:Asian House Shrew: Suncus murinus (Soricidae))

*2:中国イタチアナグマ(原文:Chinese Ferret-badger: Melogale moschata (Mustelidae))

【疫学情報】

- ・感染源:不明又は調査中
- ・2013年7月25日から29日の間に、南投県で野生イタチアナグマ3頭、台東県で野生イタチアナグマ3頭及びジャコウネズミ1頭、高雄市で1頭の野生イタチアナグマが発見された。
- ・家畜衛生試験所(国立研究所)は直接蛍光抗体検査によってこれらの動物が狂犬病に感染していることを確認した。
- ・RT-PCR及び系統樹解析により、ジャコウネズミの脳サンプルからリッサウイルス遺伝子型1が検出された。家畜衛生試験所により、緊急報告及び続報1で報告されたイタチアナグマ4例と90.5%から99%相同であることが確認された。
- ・これらのイタチアナグマが回収された地域において、犬猫に対する強化ワクチン接種対応が実施され、モニタリングが実施されているところ。

【対応】

- ・隔離
- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種実施
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

・ジャコウネズミ

直接蛍光抗体検査(FAT): 不確定(原文: Doubtful (uncertain)) (2013年7月26日)

RT-PCR検査 : 陽性 (2013年7月27日)

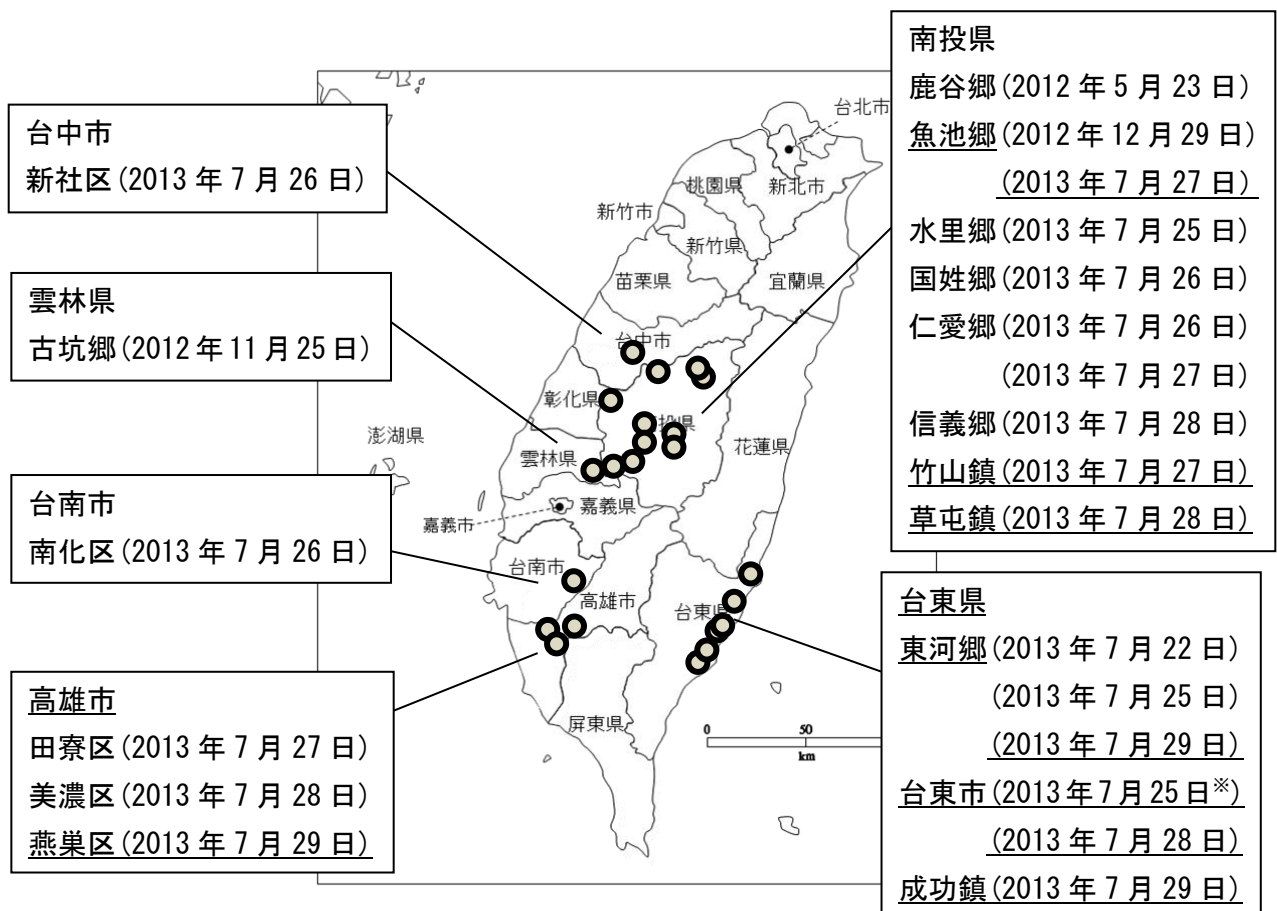
遺伝子配列確認 : 陽性 (2013年7月30日)

・イタチアナグマ

直接蛍光抗体検査(FAT): 陽性(2013年7月29日、30日、31日)

国立研究所

※参考情報: 台湾における狂犬病の発生状況



(注1: 日付は検体回収日)

(注2: ※はジャコウネズミ、他は全てイタチアナグマ)